



# 石神井中だより

練馬区立石神井中学校

校長 山田 美鈴

令和6年10月5日

第6号

## 思いつきから願望そして信念へ

校長 山田 美鈴

本校の二大行事の一つである合唱コンクールを目の前にして、教室のあちらこちらから生徒たちの歌声が響いてきます。歌うことの好き嫌いや得手不得手を超越し、クラス一丸となって創り上げようとする歌声は、心地よく耳に入ってくる芸術作品です。今から本番が楽しみです。

さて人は常に何かを思い、それによって判断し行動しています。単に「思い」というだけでは大したことではないように感じますが、実は些細なことから思いついたことが、のちには大きな現実として社会全体に影響を及ぼすようなこともあります。「思いつき」というと軽くあしらわれそうですが、心に浮かんだ様々な「思いつき」によって、過去の先人たちは「思い」を願望に変え、信念をもって努力を積み重ねてきたことによって、大きな偉業を成し遂げてきました。

日本を代表する実業家「稲盛和夫」（令和4年逝去）さんは、「**思いが人間のすべての行動の源であり基本となっています。我々が日々生活を送る中で抱く「思い」の集積されたものが、我々の人間性、人柄、人格をつくり出しているのです**」とされています。

このように「思うこと」は物事の出发点となります。人間の行動はまず心に「思う」ことから始まるわけで、思うことがなければ何も行動を起こすことはできません。実際に人間関係や社会とのつながりなど、人生すべての結果はすべて自分の「思い」が創り出しているのです。

今の自分は過去の「思い」の集積です。そしてこれからの自分がどう歩いていけるかは、すべて自分の「思い」によって方向づけられていきます。「思い」を強く抱いてあきらめずに粘り強く努力を続けていくことで、初めは空想のような「思い」だったものが、想像を超えた素晴らしい未来へとつなげていけるのです。

3年生は卒業後の進路決定に向けて今「思い」を願望へと強め、受験勉強に向かっていくことでしょう。今までに経験したことのない挑戦を重ね、自分の思いを実現していく成功体験をぜひ積んでほしいと願っています。

また合唱コンクールでは石神井中学校の生徒一人一人の「思い」が各クラスの合唱に込められ、聴いている人たちの心を動かします。全員の「思い」が強ければ強いほど、その集積は結果となって表れます。

さらに稲盛和夫さんは「**きれいな美しい心で「思い」を募らせる人は、その素晴らしい人間性、人柄、人格に合う素晴らしい出来事が起こっていきます。心に抱く「思い」とはそれほど偉大な力をもっています**」とされています。自分の「思い」が自分のためだけでなく他者のため、社会のためという純粋で美しい「思い」であれば、周囲の人たちが良い援助者となってなおさら実現への道が拓かれていくということです。

聴く人に思いを伝えたい！自分の姿をもって聴く人に感動を与えたい！そういった「思い」あふれる練馬文化センター大ホールになることを願い、必ず大成功する！という信念をもって、私も合奏コンクール当日を迎えます。

<参考文献：「致知（稲盛和夫に学ぶ人間学）2021.4月号>

